

平成28年度山武健康福祉センター運営協議会 質疑応答要旨

【平成27年度事業報告質疑応答】

A 委員

このところ、学校等に続いて病院や福祉施設等に外部者が進入して犯罪や事故を起こす事例や、病院も異物混入事件が発生しているが、いわゆる施設の警備体制、立入に対するチェックというのが見直されつつあると思われる。

施設に対する監査の中でどのように確認しているのか。また、今日は病院関係者もいらっしゃっているので、病院や施設でどのようにチェックしているのか知りたい。

議長

これは概論ということでおろしいですか。

A 委員

結構です。

監査指導課長

一連の事件がありまして、本庁からも指導を強化するよう文書が出ており、社会福祉施設については実地の指導監査において防犯体制の確認と強化を指導しているところです。

具体的には既に障害者施設等では多くの施設で門扉の施錠、防犯カメラの設置などが実施されておりますし、保育所では父兄も含めて門扉の施錠を徹底してもらっているなどの状況にあります。

A 委員

病院関係の方もいらしているので、医療施設の方は実際どうなのでしょうか。

B 委員

さんむ医療センターでは、面会者は全て受付を通して胸にカードをつけてもらっている。カードを付けていない方は、病棟の中で必ず受付するよう促しカードをつけることになっている。

C 委員

これは、絶対警察が関わらない限りは無理だと思う。防犯にしても彼らがスペシャリストであるわけで、基本的には管轄だけではなく他機関との協力が必要と思われる。特に医療施設は患者や家族が救急で飛び込んで来たり、様々な人が入ってくるので、それを全部鍵をかけて入れないという

わけにはいかないので、その部分である程度の警備にお金かけなければいけないだろうし、警察関係とも相談し合ってやっていかなければいけないので、保健所管内だけで負えることではないのではないか。

議長

まず、報告内容への御質疑ということで、この後、一般の意見交換があるので、よろしいですか。

A 委員

はい。

議長

では、説明があったことについての御質疑・御意見をお願いします。

C 委員

管内にケシの花があったということだが、どこにあるのか。

副センター長

いわゆる植えてはいけないケシというものがありまして、自生する場所があり、種がこぼれ落ち生える場合があります。そのような場所を通報があった場所や、昨年度ケシが生えていた場所について確認し、ケシが生えている場合は、抜き焼却処分をしています。

C 委員

昔から自生しているのか。

副センター長

割と同じところに生えております。抜いても少しは残っているケースがあります。通報していただくことで新しい場所が判明する場合もあります。

D 委員

事業年報 29 ページの部位別悪性新生物死亡状況について、単純な好奇心なのですが、気管、気管支及び肺が男女の差が圧倒的だが、なぜか。男性が 88 人で女性が 28 人と圧倒的に男性の方が多いのだが、この理由は何か。

センター長

これは報告なので正確なお答えになるかどうかわかりませんが、男性の方が喫煙者が多く、喫煙と肺がんには関係があるということで、もしかしたらそういうところが反映されているのかなと思います。

C 委員

女性の喫煙率は年々上がっているが、肺がんの発生率はあがっていないので、そこはなぜかという話もある。